

夜回り

# 山田先生

西陵商ラグビー部元監督



▶12◀

## ミーハー気分お断り「恐怖の20項目」要望



▼山田耕二(やまだ・こうじ) 名古屋市中区生まれの73歳。元ラグビー日本代表。西陵商(現西陵)監督として1997年、全国高校大会で愛知県勢初優勝に導く。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

「マネジャーはかわいくな  
いほづがいい」

今の時代ならすぐに問題に  
なってしまうだろう。女子の  
マネジャー希望者に私は、こ  
んな嫌がらせとも取れる一文  
で始まる条件を提示してい  
た。

生徒たちの間では「恐怖の

20項目」と呼ばれていたらし  
い。「帰宅時間が深夜になっ  
ても大丈夫」、「学業成績は  
優秀」などなど。毎日夜遅く  
まで練習に参加しなければな  
らないし、成績不振の部員に  
勉強を教えられるくらいでな  
くてはならない。

新年度になると、体験入部

があった。当時の西陵商は全  
3学年の男子を合わせても1  
00人弱しかおらず、女子の  
比率が圧倒的に多かった。ラ  
グビー部に選手として来てく  
る新入生が7、8人なのに  
対し、マネジャー希望の女子  
は毎年20、30人もいたのだ。

西陵商は全国大会の「花

当て、試合でのスコア記録や  
ビデオ撮影。合宿や遠征にも  
一緒に参加する。食事の準備  
や後片付け、相手のマネジャ  
ーと試合時間や場所などの交  
渉…。

マネジャーは時に、チーム  
状況を変えるほど大きな戦力  
なのだ。「将来を託せる、丈  
夫で長持ちな伴侶を見つけれ  
るかもし」といったミーハー  
な気持ちで希望してくる子  
たちには遠慮してもらわなけ  
ればならない。抱えられる数  
にも限りがある。だからあえ  
てきつい条件を突きつけた。

# 女子マネジャー採用に厳しい条件

花き、けがをした選手の応急手  
繕、グラウンドのライン引